

令和7年度
水泳指導の外部委託化モデル事業
実施報告書

プライバシー保護の観点から写真の
掲載はしていません。

令和8年3月
福生市教育委員会

目次

はじめに	P 1
I 水泳指導外部委託化の基本理念	P 2
II 令和7年度実施概要	
1 令和7年度モデル校の実施状況	
(1) モデル事業実施校	P 3
(2) 実施先	P 3
(3) 実施状況	P 3
III 水泳指導の外部委託連絡会	
1 設置目的	P 6
2 連絡会メンバー	P 6
3 開催日時	P 7
4 検討会の主なテーマ	P 7
IV モデル事業のアンケート結果について	
1 モデル事業実施アンケート	
【調査対象者ごとの結果】	
(1) 児童アンケート	P 8
(2) 生徒アンケート	P 14
(3) 保護者アンケート	P 15
(4) 教員アンケート	P 18
2 全体を通して	P 22
V モデル事業全校実施に向けて	P 23
令和8年度実施予定表（令和7年11月4日時点）	P 24
VI 巻末資料	
【単元指導計画書】	
1 福生第四小学校	P 26
2 福生第五小学校	P 29
3 福生第六小学校	P 32
4 福生第七小学校	P 35
5 福生第三中学校	P 38

はじめに

福生市教育委員会では、令和6年2月に策定した「水泳指導の外部委託化モデル事業 実施計画」に基づき、天候や施設環境に左右されず、質の高い水泳指導を実施するために市内民間事業者の施設を利用した水泳指導の外部委託を実施している。

初年度である令和6年度は、福生第六小学校及び福生第三中学校の2校をモデル校として水泳指導の外部委託を実施した。水泳指導実施後に、児童、生徒、教員、保護者を対象に実施したアンケート調査では、いずれの回答においても高い満足感を得られていることが分かった。それぞれの主な感想を抜粋すると、児童、生徒では、「専門的な指導を受けられて楽しむことができた。」、「自分の癖を治すことができ、前よりうまく泳ぐことが出来た。」、教員からは、「子どもたちはレベルにあった指導を受けられ、泳力が向上した。」、「外部指導を行うことで、プールの業務負担が軽減された。」、保護者からは、「天候に左右されない、日焼けしない、専門的な指導が受けられる。」、「レベル別に班分けをさせていただけるので、子どもが技術的な成長を実感できる。」などの感想が得られた。

本報告書では、外部委託実施の2年目となる令和7年度の実施状況を記載するとともに、令和8年度からの全校実施に向けた検討状況を報告する。

プライバシー保護の観点から写真の掲載はしていません。

～レベル別に分かれた指導風景～

AからDまでのレベル別に班分けして、指導を実施している様子。これにより、セントラルスポーツ所属の専門インストラクターから子どもたちのスキルに応じた指導を受けられる体制となっている。



～専門的指導のもとで泳いでいる風景～

インストラクターの指導のもと、コースごとにビート板を使用して子どもたちが泳いでいる様子。水泳が苦手な児童・生徒も全5回の指導を受けるごとに、少しずつ泳力が向上していることがアンケート調査結果でも確認できた。



プライバシー保護の観点から写真の掲載はしていません。

I

水泳指導外部委託化の基本理念

水泳指導外部委託化の基本理念

水泳学習において、指導の主体は学校であり、外部事業者の専門インストラクターは、学校の指導計画に基づいて技能面の指導を担う立場である。本市の水泳指導は、学校が中心となって授業を計画し、外部事業者と協働してよりよい学習環境をつくることを基本理念とする。

小学校では第四小学校・第五小学校・第六小学校・第七小学校、中学校では第三中学校がモデル校として先行実施し、時間配分、安全管理、レベル別指導など多くの知見を蓄積してきた。令和8年度に実施する第一小学校・第二小学校・第三小学校、及び第一・第二中学校は、これらモデル校の実践を基盤として水泳指導を進めていく。

1 学校が担うべき指導の基本姿勢

(1) 学校が主体であること

学校は、指導計画案、学習のねらいの提示、授業開始時等の挨拶や準備運動、説明を担う。専門インストラクターは学校の指導計画に基づき技能面の指導を行う。教師は授業全体の運営と学級経営の視点をもって運営をする。

(2) 学習指導要領に基づく「評価」は学校の責任

技能（知識・技能）は専門インストラクターの専門性を生かして指導可能であるが、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力、人間性等の評価は学校の責務である。教師は学習の意図や評価の観点を明確に示し、授業中の児童・生徒の学びの過程を見取り評価につなげる。

2 学校が準備・調整すべき事項

(1) 事前の指導計画と情報共有

レベル別指導の方針、技能指導の重点、配慮が必要な児童・生徒の情報を整理し、専門インストラクターと共有する。児童・生徒理解（健康状態、特性、支援の必要性）は学校が主体的に把握し、適切に伝える。

(2) 安全・学習環境の確保

移動、更衣、体調確認など、プール外での安全確保は学校の責務である。教師は学級経営の視点から授業規律を整え、落ち着いて学習できる環境を整える。

3 外部事業者との協働

専門インストラクターは技能指導の専門家として、学校の教育目的の下で指導を行う。学校は外部事業者の専門性を生かしつつ、授業の方向性と教育的価値を明確に示し、児童・生徒が「できた」「わかった」「もっとやりたい」と感じる学びを実現する。学校と外部事業者がそれぞれの役割を果たし連携することで、安全で質の高い、教育的に意味のある水泳学習が実現する。

II 令和7年度実施概要

1 令和7年度モデル校の実施状況

(1) モデル事業実施校

福生第四小学校、福生第五小学校、福生第六小学校、福生第七小学校、
福生第三中学校 ※いずれの学校も全学年で実施。

(2) 実施先

セントラルフィットネスクラブ24 福生 (福生市本町 46 番地)

(3) 実施状況

表 I - 1 令和7年度モデル校の水泳指導実施状況

	学校名	指導期間	参加人数	備考
1	福生第四小学校 【第3期】 令和8年1月21日～ 令和8年2月25日 (上記期間で全5回) (全日程、水曜日実施)	1月21日(水)	参加：194名 見学：24名	※5・6年生は第5回の指導 で着衣水泳を実施した。
		1月28日(水)	参加：153名 見学：12名	
		2月4日(水)	参加：180名 見学：33名	
		2月18日(水)	参加：160名 見学：57名	
		2月25日(水)	参加：119名 見学：24名	
2	福生第五小学校 【第1期】 令和7年6月11日～ 令和7年7月16日 (上記期間で全5回) (全日程、水曜日実施)	6月11日(水)	参加：264名 見学：23名	※5・6年生は第5回の指導 で着衣水泳を実施した。
		6月18日(水)	参加：267名 見学：22名	
		7月2日(水)	参加：270名 見学：22名	
		7月9日(水)	参加：261名 見学：25名	
		7月16日(水)	参加：266名 見学：25名	

■ II 令和7年度実施概要

	学校名	指導期間	参加人数	備考
3	福生第六小学校 【第2期】 令和7年9月19日～ 令和7年11月28日 (上記期間で全5回) (全日程、金曜日実施)	9月19日(金)	参加：116名 見学：12名	※今年度は、モデル事業2年目であり、一般利用客が利用している環境で水泳指導を実施した。 ※5・6年生は第5回の指導で着衣水泳を実施した。
		9月26日(金)	参加：108名 見学：25名	
		10月3日(金)	参加：121名 見学：10名	
		10月10日(金)	参加：106名 見学：21名	
		10月17日(金)	参加：107名 見学：22名	
		10月31日(金)	参加：110名 見学：10名	
		11月7日(金)	参加：114名 見学：14名	
		11月14日(金)	参加：118名 見学：14名	
		11月21日(金)	参加：120名 見学：7名	
	11月28日(金)	参加：111名 見学：18名		
4	福生第七小学校 【第1期】 令和7年5月7日～ 令和7年6月25日 (上記期間で全5回) (全日程、水曜日実施)	5月7日(水)	参加：189名 見学：17名	※5・6年生は第5回の指導で着衣水泳を実施した。
		5月14日(水)	参加：187名 見学：16名	
		5月28日(水)	参加：188名 見学：21名	
		6月4日(水)	参加：174名 見学：26名	
		6月25日(水)	参加：174名 見学：21名	

■ II 令和7年度実施概要

	学校名	指導期間	参加人数	備考
5	福生第三中学校 【第2期】 令和7年9月3日～ 令和7年10月1日 (上記期間で全5回) (全日程、水曜日実施)	9月3日(水)	参加：195名 見学：37名	※全学年、第4回の指導で泳力チェックを実施した。(第4回を欠席した生徒は第5回で実施している。)
		9月10日(水)	参加：182名 見学：48名	
		9月17日(水)	参加：189名 見学：43名	
		9月24日(水)	参加：186名 見学：45名	
		10月1日(水)	参加：177名 見学：49名	

※水曜日は、「セントラルフィットネスクラブ福生24」は休館日であるため、全コースを利用して水泳指導を実施した。なお、福生第六小学校については、今年度は金曜日に実施しているため、一般利用客が利用している状況下で、水泳指導専用コースを設けて指導を実施した。

※水泳授業はいずれの学校も全5回実施した。小学校については、1回の指導における入水時間を60分程度とし、2単位分(1単位時間45分程度)を1回としている。また、中学校については、1回の指導における入水時間を70分程度とし、2単位分(1単位時間50分程度)を1回としている。

※小学校では高学年(5・6年生)が第5回の指導で着衣水泳を実施し、中学校では第4回で泳力チェックを実施した。(欠席者は第5回で実施。)

Ⅲ

水泳指導の外部委託連絡会

1 設置目的

福生市立小・中学校の水泳指導外部委託化モデル事業実施校の実施状況、課題等について共有し、外部委託のより良い在り方について意見交換することを目的として設置。

2 連絡会メンバー

	学校名	役 職	氏 名
1	福生第一小学校	副校長	長保 雄一
2	福生第一小学校	教 諭	小峰 有陽
3	福生第二小学校	副校長	中島 恵大
4	福生第二小学校	教 諭	町田 翔太郎
5	福生第三小学校	副校長	中村 将行
6	福生第三小学校	教 諭	川島 弘暉
7	福生第四小学校	副校長	小島 尚子
8	福生第四小学校	教 諭	上原 純輝
9	福生第五小学校	副校長	浅井 博行
10	福生第五小学校	主任教諭	池下 陽郎
11	福生第六小学校	副校長	岡野 厚実
12	福生第六小学校	教 諭	井上 瑞人
13	福生第七小学校	副校長	山田 尚人
14	福生第七小学校	主任教諭	計良 哲也
15	福生第一中学校	副校長	田中 洋介
16	福生第一中学校	主幹教諭	齊藤 亮介
17	福生第二中学校	副校長	松野 浩一郎
18	福生第二中学校	教 諭	武藤 やよい
19	福生第三中学校	副校長	熊谷 浩
20	福生第三中学校	主任教諭	安田 裕昭
21	福生市教育委員会	教育部主幹	竹内 秀礼
22	福生市教育委員会	教育指導課指導主事	堀本 太郎
23	福生市教育委員会	教育指導課課長補佐	小田川 直樹
24	福生市教育委員会	教育指導課主任	石川 篤

■ III 水泳指導の外部委託連絡会

3 開催日時

開催日	回数	内容
令和7年5月9日(金)	第1回	1 令和6年度 水泳指導の外部委託化モデル事業実施報告について 2 令和8年度の全校実施に向けたスケジュール 3 その他(意見交換)
令和8年2月17日(火)	第2回	1 令和7年度 水泳指導の外部委託化モデル事業実施報告書について 2 令和8年度の全校実施に向けたスケジュール 3 令和9年度以降の考え方について

4 検討会の主なテーマ

(1) 第1回連絡会

第1回連絡会では、「令和6年度 水泳指導外部委託化モデル事業実施報告書」をメンバーに配布し報告を行った。主な報告事項として、水泳指導における質の充実や安定した指導実施等の成果、また、水泳指導の時間割作成上の調整や冬季期間中の実施対応、特別支援学級の実施等、次年度以降に向けた課題について報告、検討を行った。

また、令和8年度からの外部委託化完全実施に向けたスケジュールを組む上で調整すべき事項に関し検討を行った。具体的には、水曜日の休館日以外の日程でカリキュラムを編成する必要性、一般利用客がいる状況下での授業実施の必要性、また輸送バスや人員手配等により当初計画上の日程変更の困難さについて、そして特定校が毎年冬季の授業実施とならないようなスケジュールのローテーションの必要性などについて検討を行った。そのうえで、各校へ令和8年度スケジュールの調整をしていただくよう依頼を行った。

(2) 第2回連絡会

第2回連絡会では、令和7年度における5校でのモデル事業実施に伴う課題や事業成果等について報告を行った。また、連絡会メンバー間で、令和8年度の全校実施に向けたスケジュールの最終確認を行い、円滑な事業実施のための確認を行った。

令和8年度も引き続き本連絡会を開催し、これまでの課題や成果、そして各年で実施したアンケート調査結果等も踏まえて、児童・生徒にとってより良い効果的な授業展開を推進できるような事業実施を目指す。

IV モデル事業のアンケート結果について

1 モデル事業実施アンケート

令和7年度の5校のモデル校において、水泳指導の外部委託化に関するアンケート調査を実施した。アンケートは、小学生（1、2年生及び3年生以上で分けて調査）、中学生、保護者、教員向けに行い、それぞれの回答結果を抜粋で次のとおり掲載する。

【調査対象者ごとの結果】

(1) 児童アンケート ※代表的なものを抜粋で掲載

① 1年生及び2年生

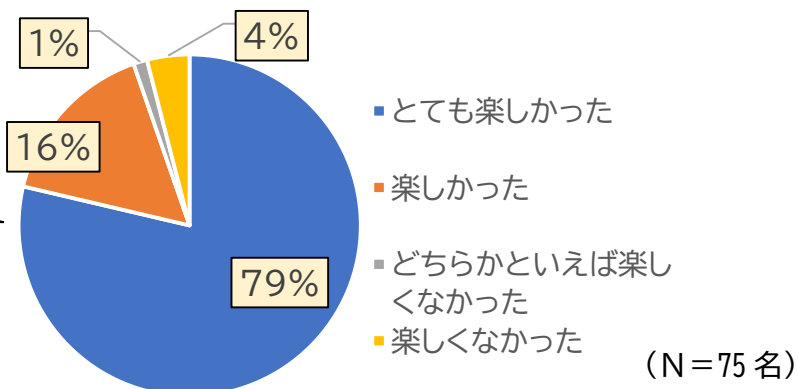
ア 福生第四小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

四小児童

肯定的回答
95%

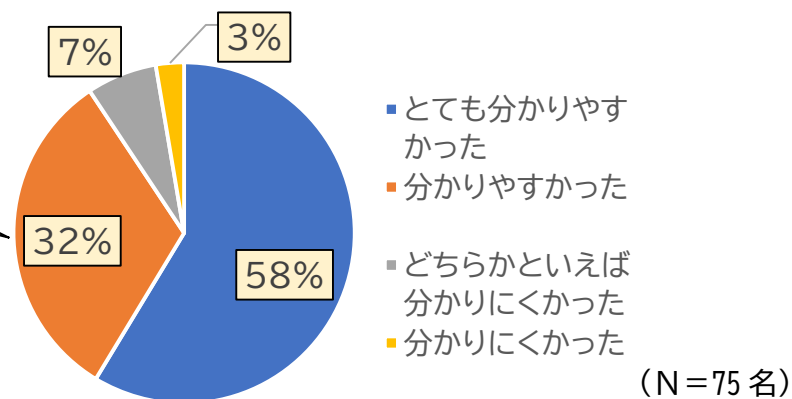


【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

四小児童

肯定的回答
90%



IV モデル事業のアンケート結果について

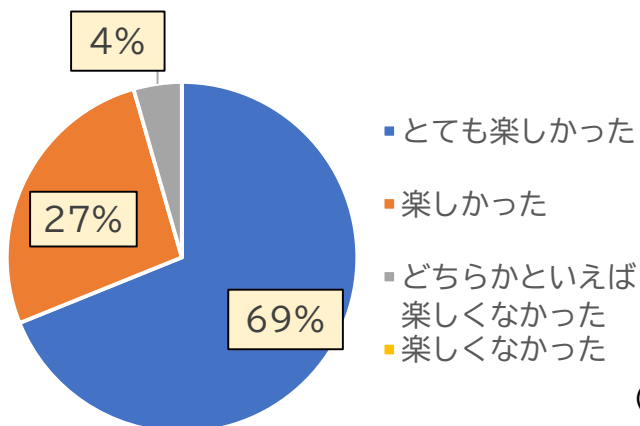
イ 福生第五小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

五小児童

肯定的回答
96%



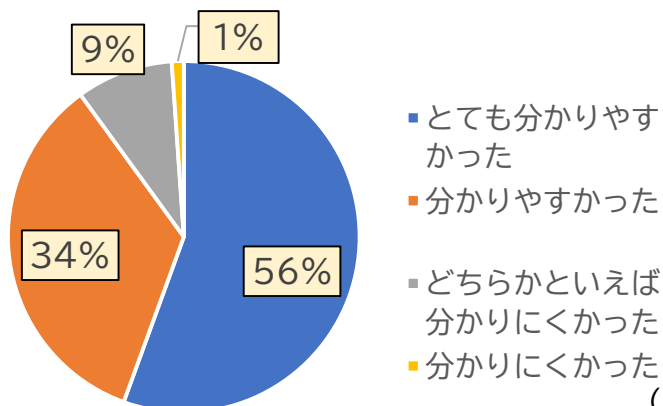
(N=90名)

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

五小児童

肯定的回答
90%



(N=90名)

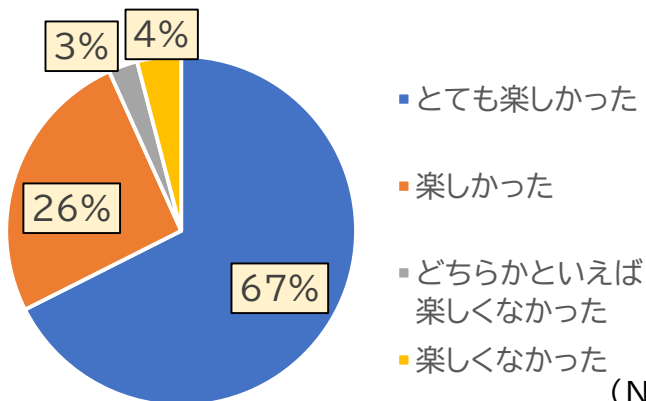
ウ 福生第六小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

六小児童

肯定的回答
93%



(N=74名)

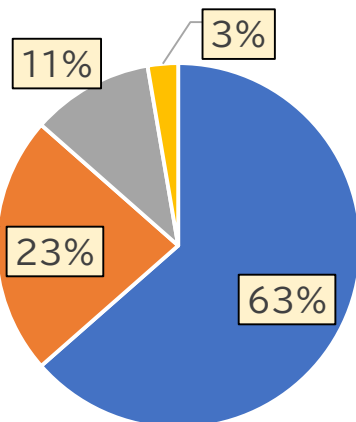
IV モデル事業のアンケート結果について

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

六小児童

肯定的回答
86%



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- どちらかといえば分かりにくかった
- 分かりにくかった

(N=74名)

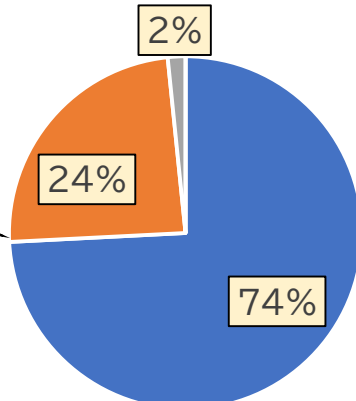
エ 福生第七小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

七小児童

肯定的回答
98%



- とても楽しかった
- 楽しかった
- どちらかといえば楽しくなかった
- 楽しくなかった

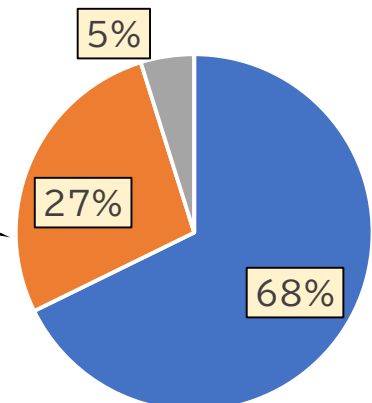
(N=62名)

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

七小児童

肯定的回答
95%



- とても分かりやすかった
- 分かりやすかった
- どちらかといえば分かりにくかった
- 分かりにくかった

(N=62名)

IV モデル事業のアンケート結果について

② 3年生以上

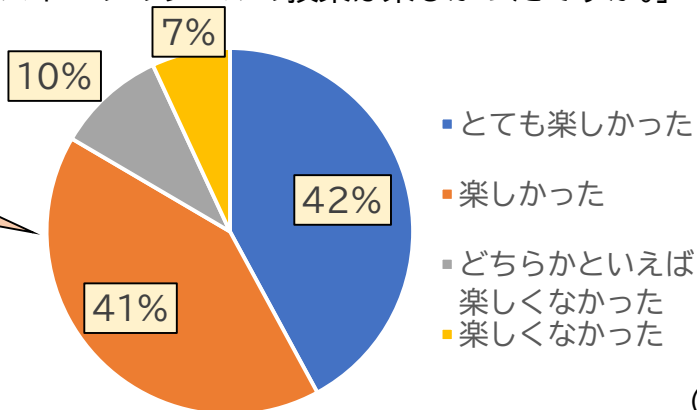
ア 福生第四小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

四小児童

肯定的回答
83%



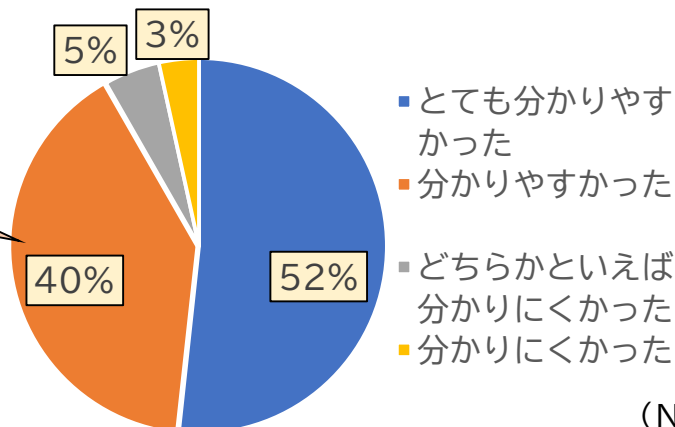
(N=145名)

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

四小児童

肯定的回答
92%



(N=145名)

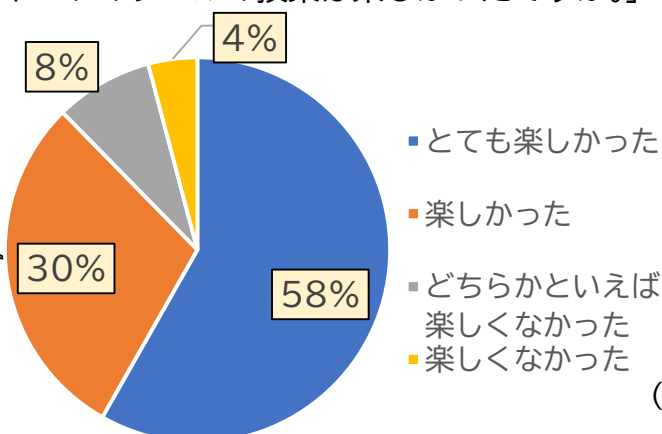
イ 福生第五小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

五小児童

肯定的回答
88%



(N=170名)

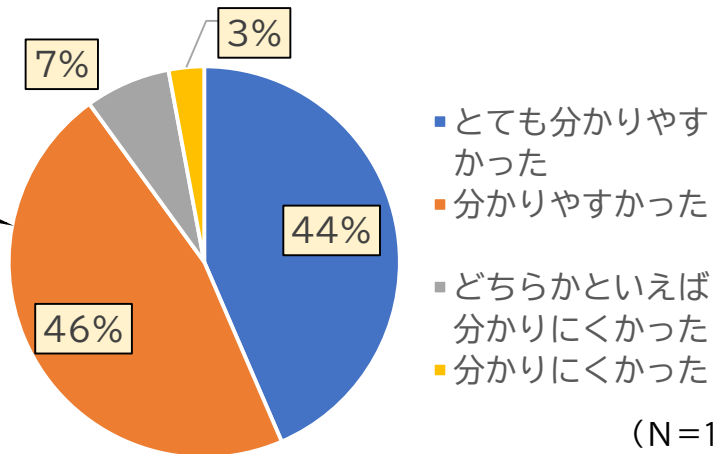
IV モデル事業のアンケート結果について

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

五小児童

肯定的回答
90%



(N=170名)

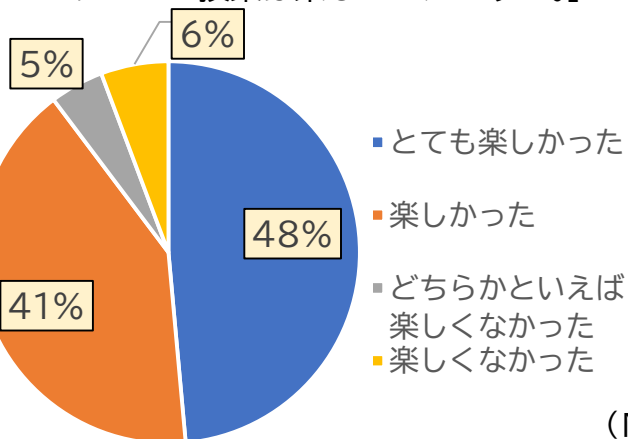
ウ 福生第六小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

六小児童

肯定的回答
89%



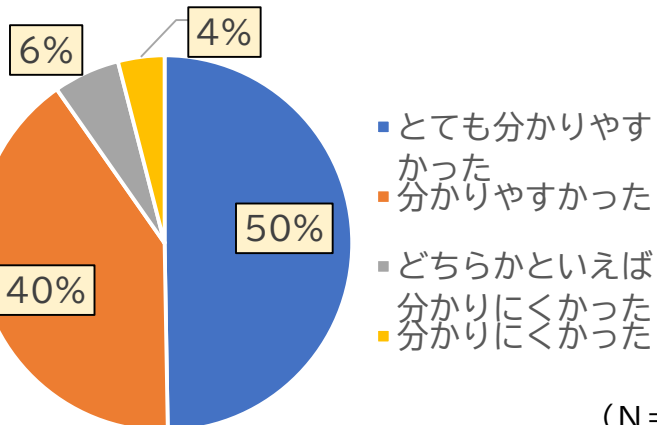
(N=175名)

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

六小児童

肯定的回答
90%



(N=175名)

IV モデル事業のアンケート結果について

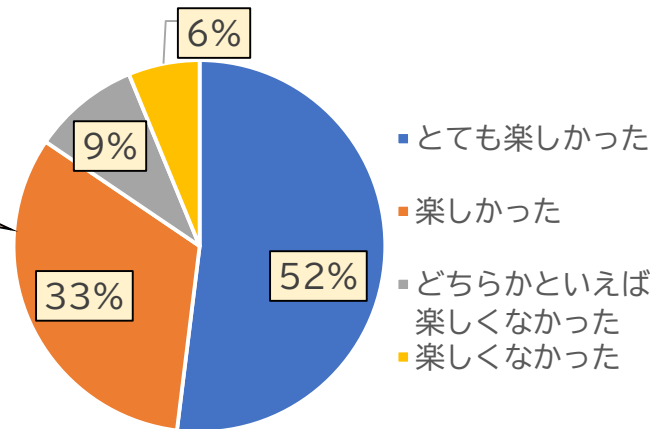
エ 福生第七小学校

【児童アンケート】

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

七小児童

肯定的回答
85%



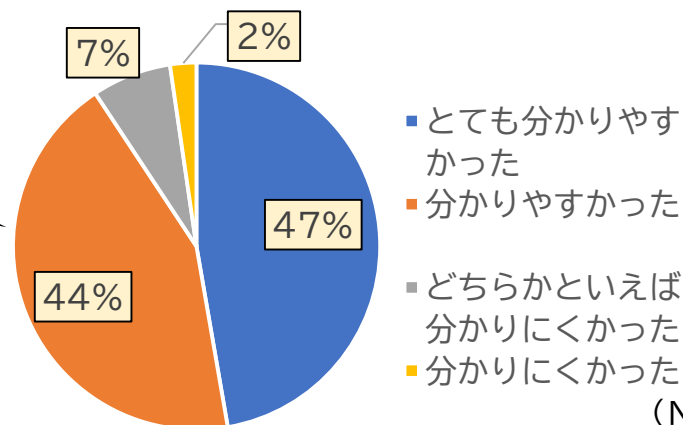
(N=129名)

【児童アンケート】

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

七小児童

肯定的回答
91%



(N=129名)

③ 自由意見（抜粋）

- 「とても楽しかった。プールの先生の教え方が分かりやすかったです。虫も入ってこないから、安心して入れました。」
- 「学校の方が夏にやるから楽しくて気持ち良く、今回は冬の時期の水泳で寒かったです。」
- 「綺麗で、気候が暑くても寒くてもプールに入れて嬉しかったです。」
- 「とても良く楽しかったですが、学校のプールで行っていたような検定が無くて、水泳が終わったという気持ちにはならなかったです。」
- 「室内で水温も快適だったので、泳ぎやすかったです。」
- 「室内だから日焼けをしなくてとてもよかったです。」
- 「先生の教え方がとても上手で分かりやすく、バタ足やクロールの際に補助してくれたので溺れる心配もなく泳ぐことができました。」
- 「冬の時期でしたが室内は暖かったです。プールは、最初は水温が冷たく感じました。」

IV モデル事業のアンケート結果について

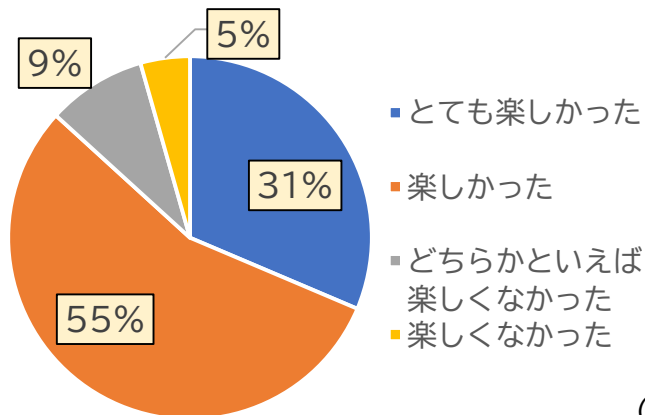
(2) 生徒アンケート ※代表的なものを抜粋

生徒アンケート（福生第三中学校）

■問5 「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか。」

三中生徒

肯定的回答
86%

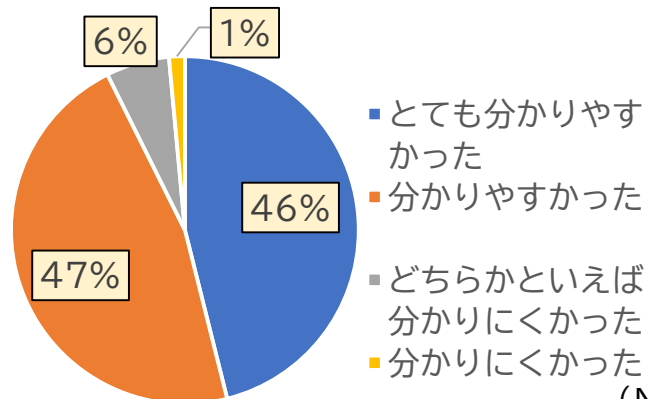


(N=204名)

■問6 「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか。」

三中生徒

肯定的回答
93%



(N=204名)

② 自由意見（抜粋）

- 「インストラクターが水泳をできるように色々教えて下さり、泳いでいる際に手を支えていただき、とても安心して楽しくプールの授業が受けられました。」
- 「環境的に暑すぎず寒すぎず、それぞれのクラスにインストラクターがおり、レベルに応じた授業を受けることができたため泳ぎが上達しました。」
- 「改善点やミスを教えてもらえて、うまく泳げるようになりました。以前よりも、どんな形で泳いだらうまくできるか、想像ができるようになりました。」
- 「夏でも冬でもプールの温度が丁度良いので気持ち良く泳ぐことができました。インストラクターの指導も分かりやすく親切で、この指導が無ければここまで上達できませんでした。」
- 「インストラクターから、自分の成長に繋がる適切なアドバイスをいただきました。実力にあったコースを選んで泳ぎやすかったです。」
- 「綺麗な環境で取り組めることの良さに気づきました。私は、後輩にセントラルを大切に使ってほしいです。」

IV モデル事業のアンケート結果について

(3) 保護者アンケート ※代表的なものを抜粋

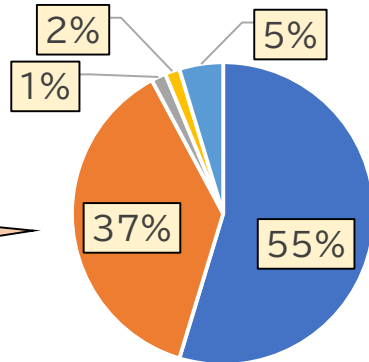
①福生第四小学校

【保護者アンケート】

■問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか。」

四小保護者

肯定的回答
92%



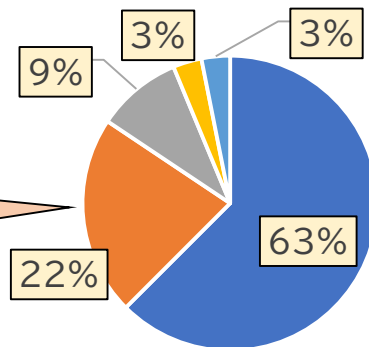
- 良い
- どちらかというが良い
- どちらかという良くない
- 良くない
- 分からない (N=64名)

【保護者アンケート】

■問6「セントラルスポーツで水泳の指導を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか。」

四小保護者

肯定的回答
85%



- 良い感情をもっているようだ
- どちらかというが良い感情をもっているようだ
- どちらかという良くないと思っているようだ
- 良くないと思っているようだ
- 分からない (N=64名)

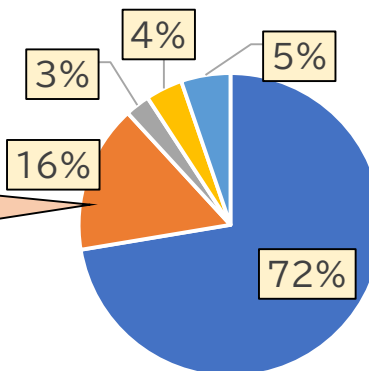
②福生第五小学校

【保護者アンケート】

■問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか。」

五小保護者

肯定的回答
88%



- 良い
- どちらかというが良い
- どちらかという良くない
- 良くない
- わからない

(N=76名)

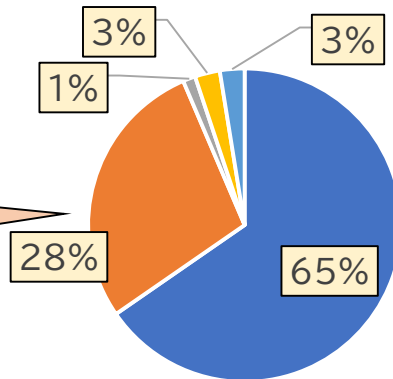
IV モデル事業のアンケート結果について

【保護者アンケート】

■問6「セントラルスポーツで水泳の指導を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか。」

五小保護者

肯定的回答
93%



- 良い感情をもっているようだ
 - どちらかというの良い感情をもっているようだ
 - どちらかというの良いと思っていないようだ
 - 良いと思っていないようだ
 - 分からない
- (N=78名)

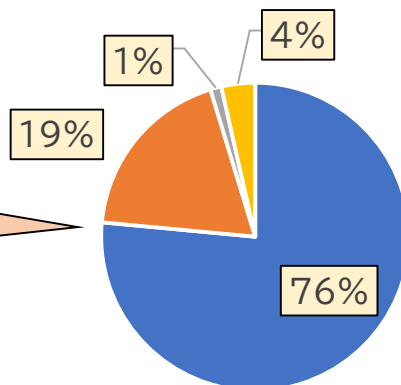
③福生第六小学校

【保護者アンケート】

■問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか。」

六小保護者

肯定的回答
95%



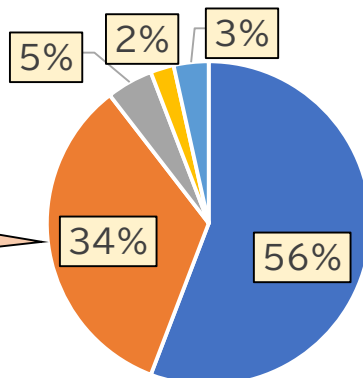
- 良い
 - どちらかというの良い
 - どちらかというの良いと思っていない
 - 良いと思っていない
 - わからない
- (N=85名)

【保護者アンケート】

■問6「セントラルスポーツで水泳の指導を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか。」

六小保護者

肯定的回答
90%



- 良い感情をもっているようだ
 - どちらかというの良い感情をもっているようだ
 - どちらかというの良いと思っていないようだ
 - 良いと思っていないようだ
 - 分からない
- (N=85名)

IV モデル事業のアンケート結果について

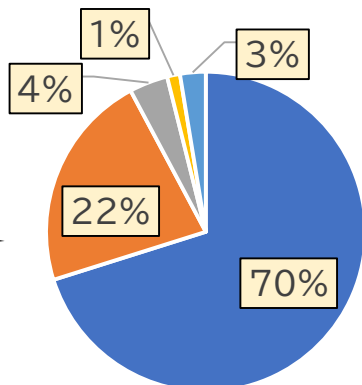
④福生第七小学校

【保護者アンケート】

■問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか。」

七小保護者

肯定的回答
92%



- 良い
- どちらかというが良い
- どちらかというと良くない
- 良くない
- わからない

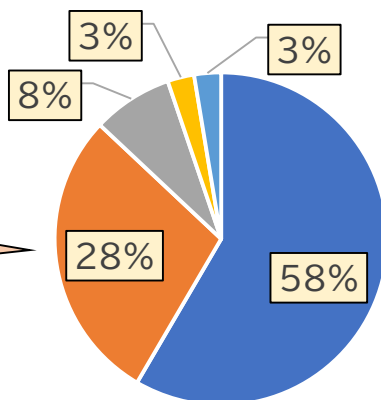
(N=77名)

【保護者アンケート】

■問6「セントラルスポーツで水泳の指導を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか。」

七小保護者

肯定的回答
86%



- 良い感情をもっているようだ
- どちらかというが良い感情をもっているようだ
- どちらかというと良くないと思っているようだ
- 良くないと思っているようだ
- 分からない

(N=77名)

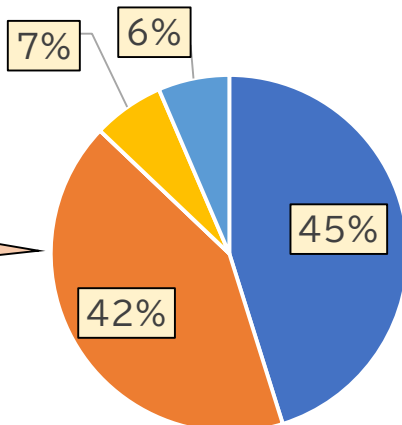
⑤福生第三中学校

【保護者アンケート】

■問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか。」

三中保護者

肯定的回答
87%



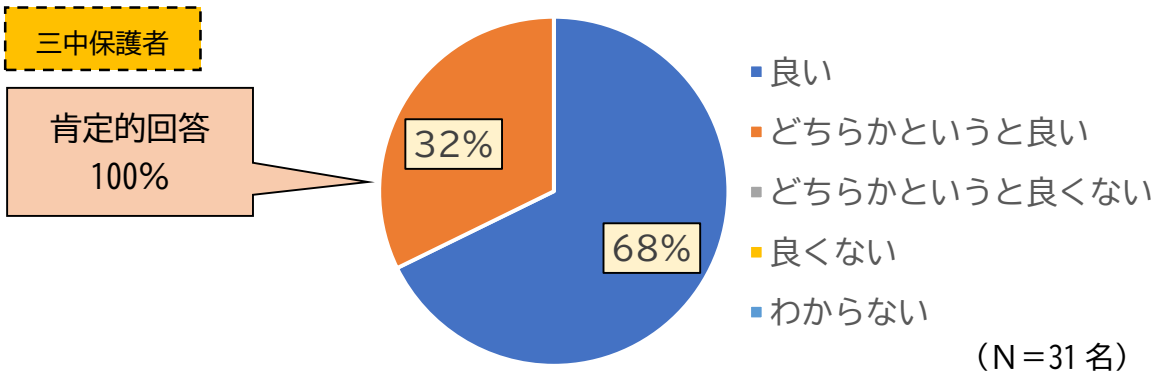
- 良い感情をもっているようだ
- どちらかというが良い感情をもっているようだ
- どちらかというと良くないと思っているようだ
- 良くないと思っているようだ
- 分からない

(N=31名)

IV モデル事業のアンケート結果について

【保護者アンケート】

■問6「セントラルスポーツで水泳の指導を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか。」



② 自由意見（抜粋） ※小・中学校の保護者分を併せて掲載

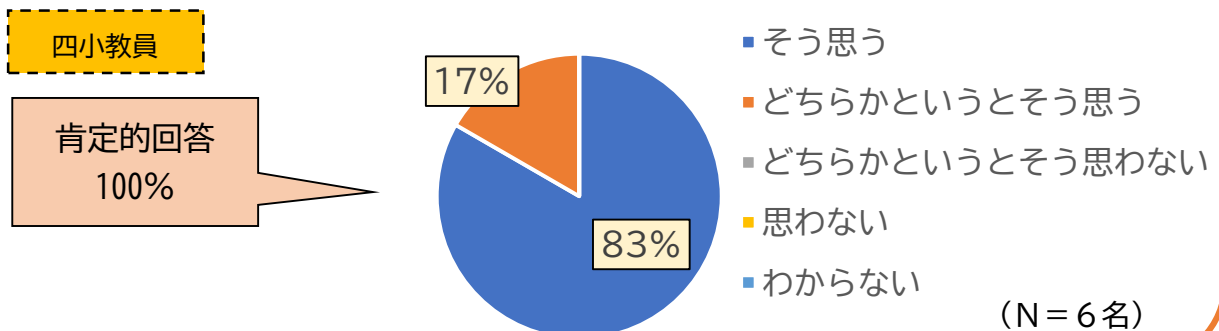
- 「室内なので中止になることがないので良いと思います。また、実力ごとに分かれて指導してもらえるのは有難いです。」
- 「プールの維持管理の手間が無くなり、先生方の負担削減にもなると思います。是非、この先も続けてほしいです。」
- 「熱くなったプールサイドを歩く必要がなくなり、屋内プールでの指導は有難いです。」
- 「安心して本格的な指導を受けられる反面、通常のカリキュラム（水泳以外の授業）に影響もあるのではないかと心配になる部分があります。」
- 「屋内プールの場合、天候の影響を受けずに実施できることや、専門的な指導を受けられるのはとても良いと思います。しかし、冬季の水泳は髪が濡れたまま過ごすこと、体の冷えなどプールに入った後の事が気になりました。良い取り組みだとは思いますが、実施時期に関しては気候を考慮したスケジュールにしていただけたらと思います。」
- 「普段プールを習っていない子や、プールを苦手と感じている子どもたちには細かい指導ができ、とても良い機会になると思います。」
- 「できれば暖かい時期から秋くらいまでにプールの授業ができると良いなと感じています。または、難しいかとは思いますが、髪を乾かすことができると有難いです。」

(4) 教員アンケート ※代表的なものを抜粋

①福生第四小学校

【教員アンケート】

■問5「児童の泳力は向上しましたか。」



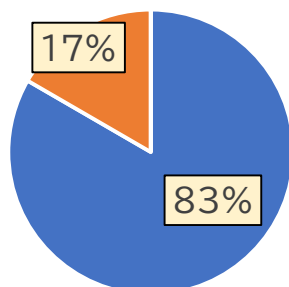
IV モデル事業のアンケート結果について

【教員アンケート】

■問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか。」

四小教員

肯定的回答
100%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない

(N=6名)

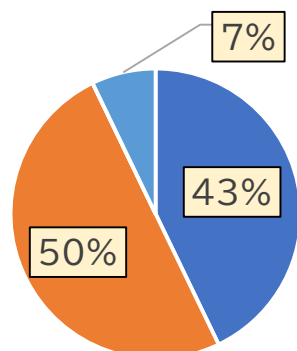
②福生第五小学校

【教員アンケート】

■問5「児童の泳力は向上しましたか。」

五小教員

肯定的回答
93%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない

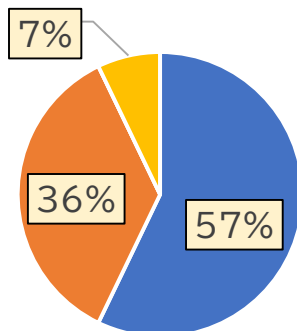
(N=14名)

【教員アンケート】

■問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか。」

五小教員

肯定的回答
93%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない

(N=14名)

IV モデル事業のアンケート結果について

③福生第六小学校

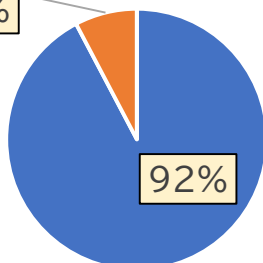
【教員アンケート】

■問5「児童の泳力は向上しましたか。」

六小教員

肯定的回答
100%

8%



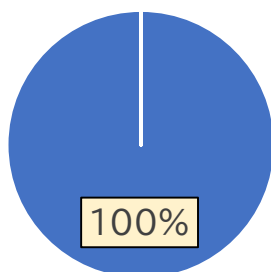
- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない (N=13名)

【教員アンケート】

■問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか。」

六小教員

肯定的回答
100%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない (N=13名)

④福生第七小学校

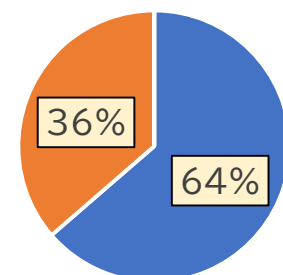
【教員アンケート】

■問5「児童の泳力は向上しましたか。」

七小教員

肯定的回答
100%

36%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない (N=11名)

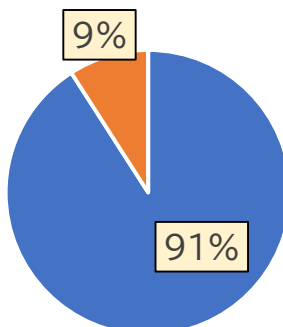
【教員アンケート】

■問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか。」

七小教員

肯定的回答
100%

9%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない (N=11名)

IV モデル事業のアンケート結果について

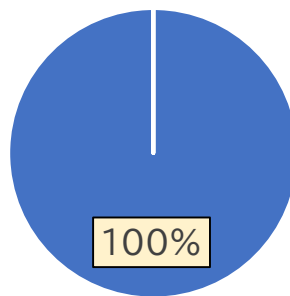
⑤福生第三中学校

【教員アンケート】

■問5「児童の泳力は向上しましたか。」

三中教員

肯定的回答
100%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない

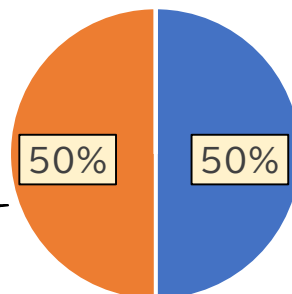
(N = 2名)

【教員アンケート】

■問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか。」

三中教員

肯定的回答
100%



- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらかというと思わない
- 思わない
- わからない

(N = 2名)

② 自由意見（抜粋） ※小・中学校の教員分を併せて掲載

- 「水が苦手な児童への水慣れから、技術的な指導まで、幅広く行っていただき有難うございます。」
- 「今日はプールの授業がある、楽しみ、などの声が毎週聞かれました。例年に比べ、忘れ物も少なかったように思います。チーム少人数で活動時間もしっかり取れていて、子どもたちも意欲的に取り組んでいました。」
- 「全体的に非常に充実した取組に感謝しています。自分に合ったレベルで練習ができること、個別の助言を多くもらえることから児童も意欲的になり、多くの児童が楽しみにしています。」
- 「教員にとって負担が少なくなり、非常に感謝しております。」
- 「教職員数の少ない学校では一部教職員を輸送人員に充てなければならないこと等がカリキュラム運営上の課題となっています。」
- 「良い施策だと思います。一人の教員として水泳指導ができなくなることは寂しいですが、プラス要素が多々あると思います。」
- 「専門的な指導のおかげで児童の泳力が上がり成果があったと思います。顔を付けられない、泳げない児童にとって一番成果がありました。できないことで、苦手意識や嫌いといったことができるようになったことで、自信が付いて水泳が好きになったようです。」

IV モデル事業のアンケート結果について

2 全体を通して

アンケート結果を踏まえた全体の評価として、令和6年度モデル事業に引き続き、児童・生徒、教員、保護者のいずれからも本事業に対する理解と、高い満足感を得られていると考えられる。

児童・生徒へのアンケートにおいて、問5「セントラルスポーツのプールの授業は楽しかったですか」という質問に対しては、8割以上の児童・生徒が肯定的な回答をしており、問6「インストラクターの先生の教え方はどうでしたか」という質問に対しても9割以上から肯定的な回答を得られた。天候や気温に左右されず、施設内で安全かつ安定的にインストラクターからレベルに応じた指導を受けられることに対し、多くの児童・生徒が高い満足感と、指導を通じた自身のスキルの向上を実感している様子が見て取れた。また、冬季に実施した福生第四小学校の児童の自由意見では、施設内と水温の温度差に慣れを必要とし、初めは寒さを感じた場面もあったという感想も見られた。

また、保護者へのアンケートでは、問3「学校のプールを廃止し、水泳授業を民間に委託することについてどう思いますか」という質問に対しては9割以上の保護者が高い評価をしており、問6「セントラルスポーツで水泳の授業を受けて、お子さんの様子はいかがでしたか」という質問に対しても9割近くが「良い感情を持っている」と回答している。なお、福生第四小学校の保護者の自由意見では、冬季の授業は髪が濡れたまま過ごすこと、身体の冷えを感じる児童もいることで、実施時期について気候を考慮したスケジュールを望みたいという意見もあった。市内小・中学校全校の水泳指導を外部委託するにあたり、冬季に授業を実施しない形で実施することは運用上難しい。毎年度のスケジュールを組み立てる上で各学校の意向、カリキュラム状況等も踏まえて、特定の学校だけ冬季に集中して運用することがないように調整の工夫が必要になると考えられる。

そして、教員に対するアンケートでは、問5「児童・生徒の泳力は向上しましたか」という質問に対し、9割以上の教員が「そう思う」と回答しており、問7「外部委託をすることで、プールの業務負担は軽減されましたか」という質問に対しても8割程度の教員が肯定的な回答を寄せている。

これら結果の評価として、教員の立場から考えてみても、インストラクターによるレベル別指導の実施により、子どもたちの泳力向上がはっきりと目に見える形で表れている証だと考えられる。また、輸送人員の調整における課題だが、来年度の円滑な全校外部委託化実施のために、早い段階からカリキュラム編成や人員体制の調整を進めていく必要があると考えられる。

以上、本アンケート結果から見る令和7年度事業の総括として、高いレベルで目に見える形の効果が得られたものと考えられる。今年度は、福生第六小学校の授業において、一般利用客がレーンを使用している状況下で授業を行い、福生第四小学校では冬季の水泳授業を実施した。令和8年度からの完全実施に向けて、運用面における細かな調整事項を含め、本アンケート結果を踏まえて改善点を洗い出し、より良い事業実施につなげていくことが求められる。

V

モデル事業全校実施に向けて

令和6年度から実施した水泳指導の外部委託化モデル事業を通じて、外部事業者のプール施設や専門インストラクターによる指導を受けて、学校施設以外でプール授業を実施する上での課題や成果、ノウハウ等を多々得ることができたと考えられる。

福生市立小・中学校では、これまで各学校に設置している学校プールで概ね6月から9月にかけて水泳指導を実施してきた。各学校では、年間10単位時間程度を基本授業とし、学習指導要領に沿った指導を行っている。近年では、雨天や真夏の猛暑等の影響による熱中症対策も含め、水泳授業が中止となることも多く、計画的に授業を実施することができない状況もあった。また、学校プールは昭和50年～60年代に建築されたものが多く、施設の老朽化の問題も生じている。

このような自然環境・施設環境的な要因等がある中で、安定的なプール授業を実施していくうえで水泳指導の外部委託を推進することは、これまでのモデル事業の効果検証から考えても非常に効果的、且つ有意義なことと考えられる。令和8年度からはこれまでのモデル事業で培ってきた知見を最大限に活かし、福生市立小・中学校全校で水泳指導外部委託化を実施していく。

【水泳指導外部委託化完全実施までのスケジュール】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
ステージ	ステージ1	ステージ2	ステージ3
	モデル事業開始	移行期	完全実施
計画	モデル事業の効果検証	小規模校での実施	大規模校での実施 特別支援学級での実施
実施校	【小学校】1校 福生市立第六小学校	【小学校】4校 福生市立第四小学校 福生市立第五小学校 福生市立第六小学校 福生市立第七小学校	【小学校】7校 福生市立第一小学校 福生市立第二小学校 福生市立第三小学校 福生市立第四小学校 福生市立第五小学校 福生市立第六小学校 福生市立第七小学校
	【中学校】1校 福生市立第三中学校	【中学校】1校 福生市立第三中学校	【中学校】3校 福生市立第一中学校 福生市立第二中学校 福生市立第三中学校

■ V モデル事業全校実施に向けて

【令和8年度実施予定表（令和7年11月4日時点）】

別紙 令和8年度 福生市立小・中学校 水泳指導年間スケジュール（R7.10.10時点）

令和7年11月4日 教育指導課
令和8年度スケジュール（R7.10.21時点）

3学期

設定曜日	実施校一覧
水	一・小
火・金	一・小（特）

2学期

設定曜日	実施校一覧
水	三・中 → 五・小 → 二・中 → 四・小
火・金	一・中

1学期

設定曜日	実施校一覧
水	三・小 → 六・小 → 七・小
火・金	二・小

回	日付	実施校	AM1	AM2	AM3	PM4
32	1月12日	火	一・小	高①	低①	特①
32	1月13日	水	一・小	高①	低①	中①
33	1月15日	金	一・小	高②	低②	特①
32	1月19日	火	一・小	高②	低②	中②
33	1月22日	金	一・小	高③	低③	特③
35	1月26日	火	一・小	高③	低③	中③
33	1月27日	水	一・小	高④	低④	特④
35	2月2日	火	一・小	高④	低④	中④
80	2月3日	水	一・小	高④	低④	中④
33	2月5日	金	一・小	高⑤	低⑤	特⑤
35	2月9日	火	一・小	高⑤	低⑤	中⑤
79	2月10日	水	一・小	高⑤	低⑤	中⑤
35	2月12日	火	一・小	高⑤	低⑤	中⑤

回	日付	実施校	AM1	AM2	AM3	PM4
31	9月1日	火	三・中	3年①	1年①	2年①
32	9月2日	水	三・中	2年A①	2年B①	3年A①
33	9月4日	金	一・中	3年B①	1年A①	1年A①
34	9月8日	火	三・中	3年②	1年②	2年②
35	9月9日	水	三・中	2年A②	2年B②	3年A②
36	9月11日	金	一・中	3年B②	1年A②	1年A②
37	9月15日	火	三・中	3年③	1年③	2年③
38	9月16日	水	三・中	2年A③	2年B③	3年A③
39	9月18日	金	一・中	3年B③	1年A③	1年A③
40	9月25日	火	三・中	3年④	1年④	2年④
41	9月29日	水	三・中	2年A④	2年B④	3年A④
42	9月30日	火	三・中	3年⑤	1年⑤	2年⑤
43	10月2日	金	一・中	3年B④	1年A④	1年A④
44	10月6日	火	三・中	3年⑥	1年⑥	2年⑥
45	10月7日	水	三・中	2年A⑤	2年B⑤	3年A⑤
46	10月9日	金	一・中	3年B⑤	1年A⑤	1年A⑤
47	10月13日	火	予備日	予備	予備	予備
48	10月14日	水	五・小	高①	低①	中①
49	10月16日	金	五・小	高②	低②	中②
50	10月20日	火	五・小	高③	低③	中③
51	10月21日	水	五・小	高④	低④	中④
52	10月23日	金	二・中	2年A①	2年B①	3年A①
53	10月27日	火	二・中	3年B①	1年A①	1年A①
54	10月28日	水	五・小	高③	低③	中③
55	10月30日	金	二・中	2年A②	2年B②	3年A②
56	11月4日	火	五・小	高④	低④	中④
57	11月6日	水	予備日	予備	予備	予備
58	11月10日	火	五・小	高⑤	低⑤	中⑤
59	11月11日	水	五・小	高⑥	低⑥	中⑥
60	11月13日	金	二・中	3年B③	1年A③	1年A③
61	11月17日	火	二・中	2年A④	2年B④	3年A④
62	11月18日	水	四・小	高①	低①	中①
63	11月20日	金	二・中	3年B④	1年A④	1年A④
64	11月24日	火	二・中	2年A⑤	2年B⑤	3年A⑤
65	11月25日	水	四・小	高②	低②	中②
66	11月27日	金	二・中	3年B②	1年A②	1年A②
67	12月1日	火	四・小	高③	低③	中③
68	12月2日	水	四・小	高④	低④	中④
69	12月4日	火	二・中	2年A⑥	2年B⑥	3年A⑥
70	12月8日	水	二・中	3年B⑥	1年A⑥	1年A⑥
71	12月9日	水	四・小	高④	低④	中④
72	12月11日	金	予備日	予備	予備	予備
73	12月15日	火	予備日	予備	予備	予備
74	12月16日	水	四・小	高⑤	低⑤	中⑤

回	日付	実施校	AM1	AM2	AM3	PM4
1	5月12日	火	二・小	2年①	4年①	4年①
2	5月13日	水	三・小	高①	低①	中①
3	5月15日	金	二・小	5年①	1年①	3年①
4	5月19日	火	二・小	6年②	2年②	4年②
5	5月20日	水	三・小	高②	低②	中②
6	5月22日	金	二・小	5年②	1年②	3年②
7	5月26日	火	二・小	6年③	2年③	4年③
8	5月27日	水	三・小	高③	低③	中③
9	5月29日	金	二・小	5年③	1年③	3年③
10	6月2日	火	二・小	6年④	2年④	4年④
11	6月3日	水	三・小	高④	低④	中④
12	6月5日	金	二・小	5年④	1年④	3年④
13	6月9日	火	二・小	6年⑤	2年⑤	4年⑤
14	6月10日	水	三・小	高⑤	低⑤	中⑤
15	6月12日	金	二・小	5年⑤	1年⑤	3年⑤
16	6月16日	火	七・小	高①	低①	中①
17	6月17日	水	六・小	高①	低①	中①
18	6月19日	金	三・小	5年⑤	6年⑤	6年⑤
19	6月23日	火	七・小	高③	低③	中③
20	6月24日	水	六・小	高②	低②	中②
21	6月26日	金	予備日	予備	予備	予備
22	6月30日	火	七・小	高②	低②	中②
23	7月1日	水	六・小	高③	低③	中③
24	7月3日	金	七・小	高④	低④	中④
25	7月7日	火	七・小	高④	低④	中④
26	7月8日	水	六・小	高④	低④	中④
27	7月10日	金	予備日	予備	予備	予備
28	7月14日	火	七・小	中⑤	低⑤	高⑤
29	7月15日	水	六・小	高⑤	低⑤	中⑤
30	7月17日	金	六・小	高⑤	低⑤	中⑤

凡例

- ① 低学年（第1・2学年）
- ② 中学年（第3・4学年）
- ③ 高学年（第5・6学年）
- 特 特別支援学校（知的障害）
- B 学年を半分に分けた際の後半グループ
- A 学年を半分に分けた際の前半グループ
- ① 1回目の指導
- ② 2回目の指導
- ③ 3回目の指導
- ④ 4回目の指導
- ⑤ 5回目の指導

【令和8年度の運用について】

① 予備日について
実施校において、休校等により予定学年の児童・生徒が学校へ登校しなかった場合において、活用できる予備日を設定したい。（日程については、暫定10/21時点）

② 台風や、大雪などで中止を要する場合には、前日の17時までにセントラルに連絡を要する必要がある。事前キャンセル時には、追加料金は発生せず予備日の利用の検討が可能。
前日の17時以降の中止連絡については、全額負担となるため、中止とします。

※ここに掲載するスケジュール表は、令和7年11月時点で作成したものである。基本的にはこの計画どおり授業を実施していく予定であるが、休校等により予備日を使う場合には当初計画が変更となる可能性もある。

令和7年度モデル事業の実施にあたり、各学校で作成した単元指導計画を次頁以降に掲載する。なお、掲載する資料は作成時点での情報であり、計画内容が変更となっている可能性もある。あくまでも、参考資料として掲載するものであることを承知のうえ、参照していただきたい。

【単元指導計画】

1 福生第四小学校

小学校 第1学年及び第2学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	2	3	4	5
	<p>○水中をもぐったり、ういたりできる。</p> <p>○水中を歩いたり走ったりもぐったりする遊びを工夫している。</p> <p>○水遊びのきまりを守って、安全に水遊びをしようとしている。</p>				
回		2	3	4	5
0分		準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー			
15分	<p>オリエンテーション</p> <p>○水遊びの心得</p> <p>○諸注意</p> <p>○グループ分け</p>	水慣れ			
30分	<p>○水慣れ</p> <p>水かけ、腰かけばた足、顔つけ、等</p>	<p>【水の中を移動する運動遊び】</p> <p>○水につかかって水かけっこ、まねっこ遊び</p> <p>いろいろな動物になって（1年）、電車でゴー（1年）、友達と水かけっこ（2年）</p> <p>【もぐる・浮く運動遊び】</p> <p>○顔つけ（1年）</p> <p>かにさんブクブク、お池にポチャン、この歌いくつ、お池でたし算</p> <p>○もぐりっこ（2年）</p> <p>お池にポチャン、水中にらめっこ、水中言葉当て</p> <p>○□□浮き（2年）</p> <p>だるま浮き、大の字浮き、背浮き、変身浮き</p> <p><課題別></p> <p>○補助具を活用した運動遊び（1年一斉、2年選択）</p> <p>宝探し、ビート板を使った運動遊び</p> <p>【学習の振り返り】</p>	<p>【水の中を移動する運動遊び】</p> <p>○水につかかって電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び</p> <p>ねことねずみ（1年）、鬼遊び（1・2年）、リレー遊び（2年）</p> <p>【もぐる・浮く運動遊び】</p> <p>○浮き遊び（1年）</p> <p>ワニ歩き、壁につかまって浮く、水中タクシー</p> <p>○もぐって浮く遊び（1年）</p> <p>連続ジャンプ、つかまって浮く</p> <p>○バブリング、ポピング（2年）</p> <p>ワニケンケン、手つなぎジャンプ</p> <p><課題別></p> <p>○補助具を活用した運動遊び（1・2年選択）</p> <p>宝探し、ビート板を使った運動遊び、輪を使った運動遊び</p> <p>【学習の振り返り】</p>		
45分	<p>【水の中を移動する運動遊び】</p> <p>○水につかかって水かけっこ、まねっこ遊び（1・2年）</p> <p>【もぐる・浮く運動遊び】</p> <p>○顔つけ（1年）</p> <p>○もぐりっこ（2年）</p> <p>○□□浮き（2年）</p> <p>【学習の振り返り】</p>	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け			
75分 90分		2	3	4	5
評価機会	<p>知・技 ☆1</p>		☆1		
思	☆1			☆1	
態	☆1			☆1	
単元の評価基準	<p>☆1水中を歩いたり走ったり、もぐったりういたりできている。</p> <p>☆1水中を歩いたり走ったりもぐったりする遊びを工夫している。</p> <p>☆1水遊びのきまりを守って、安全に水遊びをしようとしている。</p>				
単元の評価基準		総合的な評価			

小学校 第5学年及び第6学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	2	3	4	5
0分				準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー			
15分	オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○精注意 ○グループ分け			水慣れ			
30分	○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、バブリング、ポビング等			【安全確保につながる運動】 ○水中での体の操作 3回～5回程度を目安にした浮き沈み ○背浮き 10秒～20秒程度を目安にし背浮き 【クロール】 ○手や足の動かしか方（面かぶりのクロール） ○呼吸の仕方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かしか方（面かぶりの平泳ぎ） ○呼吸の仕方 <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ 【学習の振り返り】	【安全確保につながる運動】※着衣水泳を実施することも想定される。 ○水中での体の操作 連続ポビング ○背浮き 手や足を付けた背浮き 【クロール】 ○25m～50m程度を目安にしたクロール ○ゆったりとしたクロール 両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく ゆっくりと動かすばた足 【平泳ぎ】 ○25m～50m程度を目安にした平泳ぎ ○ゆったりとした平泳ぎ キックの後に顔を引いた伏し浮きの姿勢を保つ <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ		
45分	【初歩的な泳ぎ】 ○け伸び 【安全確保につながる動き】 ○水中での体の操作 ○背浮き 【クロール】 ○手や足の動かしか方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かしか方						
75分 90分				本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け			
回	1	2	3	4	5		
知・技	☆1		☆1				
思		☆12					☆12
態		☆123					☆123
知・技	☆1手と足の動きに合わせて呼吸をしながらクロール及び平泳ぎで続けて長く泳ぐことができている。						
思	☆1泳ぎ方や目標距離など自分に合った課題をもっている。 ☆2学習資料や補助具を使って、泳ぎの技能のポイントを考えている。						
態	☆1補助具の準備や片付け、きまわりを守って安全に学習しようとしている。 ☆2ペアやお互いを確認しながら安全に留意して活動している。 ☆3励まし合ったり、教え合ったりして運動している。						
評価機会							総合的な評価

小学校 第3学年及び第4学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。 イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。			
	思考力、判断力、表現力等	(2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 (3) 運動に進んで取り組み、きまわりを守り誰とも仲よく運動をしたり、友達のを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを付けたりすること。			
回数	1	2	3	4	5
0分	準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー				
15分	オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○諸注意 ○グループ分け	水慣れ			
30分	○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 バブリング、ポビング 等	<p>【もぐる・浮く運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなもぐり方 プールの底にタッチ、股くぐり、輪くぐり ○いろいろな浮き方 背浮き、だるま浮き、変身浮き、大の字浮き、くらげ浮き、伏し浮き <p>【浮いて進む運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○け伸び (3年) 床を蹴って (3年)、壁を強く蹴って (3、4年) 友達と一緒に (4年) ○初歩的な泳ぎ 補助具を使って、呼吸しながらのばた足やかえる足 (3年) 呼吸しながらのばた足やかえる足 (4年) 水面に顔を付けて泳ぐ (4年) <p><課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：もぐる・浮く、け伸び B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり) C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり)</p>			
45分	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐり方 股くぐり、輪くぐり ○いろいろな浮き方 背浮き、だるま浮き、大の字浮き くらげ浮き、伏し浮き 【浮いて進む運動】 ○け伸び	<p>【もぐる・浮く運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなもぐり方 友達とポビング、水中でのいろいろな姿勢 ○いろいろな浮き方 伏し浮き→立つ、だるま浮き→大の字浮き、背浮き→伏し浮き ○簡単な浮き流し 息を吸い浮かぶ、息を吐き沈む、浮きながら口を出す、連続ポビング <p>【浮いて進む運動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○初歩的な泳ぎ 左右交互にかく (3年)、円を描いて顔を出す (3年) 呼吸をしながらのばた足やかえる泳ぎ (4年) ※クロールや平泳ぎができてくる児童には、け伸びの距離を伸ばしたり、いろいろな体の動きに挑戦させたりする。 <p><課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：もぐる・浮く、け伸び B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり) C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり)</p>			
75分	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け				
90分	1	2	3	4	5
評価機会	①②		①②		
思考	①			①	
態度	①			①	
単元の評価規準	次の運動の行い方を知っているとともに、その動きを身に付けている。 ①浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをしている。 ②もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をしている。 ①自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えていく。 ①運動に進んで取り組もうとし、きまわりを守り誰とも仲よく運動をしようとしていたり、友達のを認めようとしていたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを付けたっている。				
評価機会	総合的な評価				

小学校 第5学年及び第6学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳ぐこと。 (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配ったりすること。				
	2	3	4	5	
知識及び技能	準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー				
思考力、判断力、表現力等	水慣れ				
学びに向かう力、人間性等	水慣れ				
0分	オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○諸注意 ○グループ分け	【安全確保につながる運動】 ○水中での体の操作 3回～5回程度を目安にした浮き沈み ○背浮き 10秒～20秒程度を目安にし背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方（面かぶりのクロール） ○呼吸の仕方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方（面かぶりの平泳ぎ） ○呼吸の仕方 ＜課題別グループ＞※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ 【学習の振り返り】	【安全確保につながる運動】※着衣水泳を実施することも想定される。 ○水中での体の操作 連続ポビング ○背浮き 手や足を付けた背浮き 【クロール】 ○25m～50m程度を目安にしたクロール ○ゆったりとしたクロール 両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく ゆっくりと動かすばた足 【平泳ぎ】 ○25m～50m程度を目安にした平泳ぎ ○ゆったりとした平泳ぎ キックの後に頸を引いた伏し浮きの姿勢を保つ ＜課題別グループ＞※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ	5	
15分	○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 パブリング、ポビング 等				
30分					
45分	【初歩的な泳ぎ】 ○け伸び 【安全確保につながる動き】 ○水中での体の操作 ○背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方				
75分					
90分					
評価機会	2	3	4	5	
知・技	①②③	①②③			
思	①		①		
態	①		①		
単元の評価規準	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け 次の運動の行い方を理解しているとともに、その技能を身に付けている。 ①クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳いでいる。 ②平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳いでいる。 ③安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳いでいる。 ①自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ①運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしようとしていたり、仲間の考えや取組を認めようとしていたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配ったりしている。				
総合的な評価	総合的な評価				

3 福生第六小学校

小学校 第1学年及び第2学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかかって歩いたり走ったりすること。 イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。			
	思考力、判断力、表現力等	(2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するともに、考えたことを友達に伝えること。			
	学びに向かう力、人間性等	(3) 運動遊びに迷って取り組み、順番やまわりを守り誰よりも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気をつけたりすること。			
回数	1	2	3	4	5
0分	準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー				
15分	水慣れ				
30分	オリエンテーション	【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかかって水かけっこ、まねっこ遊び いろいろな動物になって(1年)、電車でゴー(1年)、 友達と水かけっこ(2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○顔つけ(1年) かにさんブクブク、お池にポチャン、この歌いくつ、お池でたし算 ○もぐりっこ(2年) お池にポチャン、水中にらめっこ、水中言葉当て ○□□浮き(2年) だるま浮き、次の字浮き、背浮き、変身浮き <課題別> ○補助具を活用した運動遊び(1年一斉、2年選択) 宝探し、ビート板を使った運動遊び、輪を使った運動遊び 【学習の振り返り】			
	水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 顔つけ、等	【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかかって電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び ねことねずみ(1年)、鬼遊び(1・2年)、リレー遊び(2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○浮き遊び(1年) ワニ歩き、壁につかまって浮く、水中タクシー ○もぐって浮く遊び(1年) 連続ジャンプ、つかまって浮く ○バプリング、ポピング(2年) ワニケンケン、手つなぎジャンプ <課題別> ○補助具を活用した運動遊び(1・2年選択) 宝探し、ビート板を使った運動遊び、輪を使った運動遊び 【学習の振り返り】			
45分	【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかかって水かけっこ、 まねっこ遊び(1・2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○顔つけ(1年) ○もぐりっこ(2年) ○□□浮き(2年) 【学習の振り返り】				
75分	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け				
90分	1	2	3	4	5
評価機会	知・技	①②			
	思	①	①②		
	態	①	①		
単元の評価規準	次の運動遊びの行い方を知っているとともに、その動きを身に付けている。 ①水の中を移動する運動遊びでは、水をつかかって歩いたり走ったりしている。 ②もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりしている。 ①水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。 ①運動遊びに迷って取り組もうとし、順番やまわりを守り誰よりも仲よく運動しようとしていたり、水遊びの心得を守って安全に気をつけたりしている。				

小学校 第3学年及び第4学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能			
	1	2	3	4
思考力、判断力、表現力等	<p>(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。 イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐるり方や浮き方をすること。</p> <p>(2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。</p> <p>(3) 運動に進んで取り組み、きまわりを守り誰とも仲よく運動をしたり、友達のを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。</p>			
学びに向かう力、人間性等	<p>準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー</p>			
0分	水慣れ			
15分	<p>オリエンテーション</p> <p>○水泳運動の心得</p> <p>○諸注意</p> <p>○グループ分け</p>			
30分	<p>○水慣れ</p> <p>水かけ、腰かけばた足、バブリング、ポピング 等</p>	<p>【もぐる・浮く運動】</p> <p>○いろいろなもぐるり方</p> <p>プールの底にタッチ、股くぐり、輪くぐり</p> <p>○いろいろな浮き方</p> <p>背浮き、だるま浮き、変身浮き、木の字浮き、くらげ浮き、伏し浮き</p> <p>【浮いて進む運動】</p> <p>○け伸び (3年)</p> <p>床を蹴って (3年)、壁を強く蹴って (3、4年)</p> <p>友達と一緒に (4年)</p> <p>○初歩的な泳ぎ</p> <p>補助具を使って、呼吸しながらのばた足やかえり足 (3年)</p> <p>呼吸しながらのばた足やかえり足 (4年)</p> <p>水面に顔を付けて泳ぐ (4年)</p> <p><課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。</p> <p>A：もぐる・浮く、け伸び</p> <p>B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり)</p> <p>C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり)</p>		
45分	<p>【もぐる・浮く運動】</p> <p>○いろいろなもぐるり方</p> <p>股くぐり、輪くぐり</p> <p>○いろいろな浮き方</p> <p>背浮き、だるま浮き、木の字浮き</p> <p>くらげ浮き、伏し浮き</p> <p>【浮いて進む運動】</p> <p>○け伸び</p>	<p>【もぐる・浮く運動】</p> <p>○いろいろなもぐるり方</p> <p>友達とポピング、水中でのいろいろな姿勢</p> <p>○いろいろな浮き方</p> <p>伏し浮き→立つ、だるま浮き→木の字浮き、背浮き→伏し浮き</p> <p>○簡単な浮き沈み</p> <p>息を吸い浮かぶ、息を吐き沈む、浮きながら口を出す、連続ポピング</p> <p>【浮いて進む運動】</p> <p>○初歩的な泳ぎ</p> <p>左右交互にかく (3年)、円を描いて顔を出す (3年)</p> <p>呼吸をしながらのばた足やかえり泳ぎ (4年)</p> <p>※クロールや平泳ぎができてくる児童には、け伸びの距離を伸ばしたり、いろいろな体の動きに挑戦させたりする。</p> <p><課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。</p> <p>A：もぐる・浮く、け伸び</p> <p>B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり)</p> <p>C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり)</p>		
75分	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け			
90分	<p>回</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>			
知・技	①②	①②		
思	①			
態	①			
単元の評価規準	<p>次の運動の行い方を知っていると、その動きを身に付けている。</p> <p>①浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。</p> <p>②もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐるり方や浮き方をしている。</p> <p>①自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫していること、考えたことを友達に伝えること。</p> <p>①運動に進んで取り組み、きまわりを守り誰とも仲よく運動をしたり、友達のを認めようとしていたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりしている。</p>			
評価機会	総合的な評価			

小学校 第5学年及び第6学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元目標	(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ア クロールでは、手や足の動きに合わせて呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手や足の動きに合わせて呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳ぐこと。 (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間を考えたり、仲間を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配ったりすること。 (3) 運動に積極的に取り組む、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配ったりすること。		
回数	2	3	4
0分			5
15分	オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○諸注意 ○グループ分け	準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー	
30分	○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 パブリング、ポビング 等	水慣れ	
45分	【初歩的な泳ぎ】 ○け伸び 【安全確保につながる動き】 ○水中での体の操作 ○背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方	【安全確保につながる運動】 ○水中での体の操作 3回～5回程度を目安にした浮き沈み ○背浮き 10秒～20秒程度を目安にし背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方（面かぶりのクロール） ○呼吸の仕方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方（面かぶりの平泳ぎ） ○呼吸の仕方 <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ 【学習の振り返り】 ○手や足の動かし方	【安全確保につながる運動】※着衣水泳を実施することも想定される。 ○水中での体の操作 連続ポビング ○背浮き 手や足を付けた背浮き 【クロール】 ○25m～50m程度を目安にしたクロール ○ゆったりとしたクロール 両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく ゆっくりと動かすばた足 【平泳ぎ】 ○25m～50m程度を目安にした平泳ぎ ○ゆったりとした平泳ぎ キックの後に顔を引いた伏し浮きの姿勢を保つ <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ
75分		本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け	
90分		2	3
回数	2	3	4
0分			5
知・技	①②③	①②③	
思	①		①
態	①		①
単元の評価機会	次の運動の行い方を理解しているとともに、その技能を身に付けている。 ①クロールでは、手や足の動きに合わせて呼吸を合わせて長く泳いでいる。 ②平泳ぎでは、手や足の動きに合わせて呼吸を合わせて長く泳いでいる。 ③安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く泳いでいる。 ④自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫しているとともに、自己や仲間を考えたり、仲間を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配っている。 ⑤運動に積極的に取り組もうとし、約束を守り助け合って運動をしようとしていたり、仲間の考えや取組を認めようとしていたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配っている。		総合的な評価

4 福生第七小学校

小学校 第1学年及び第2学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元目標		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	
		(1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。 イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。 (2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。			
回数		2	3	4	5
0分		準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー			
15分		水慣れ			
30分		オリエンテーション ○水遊びの心得 ○諸注意 ○グループ分け ○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 顔つけ、等	【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかって水かけっこ、まねっこ遊び いろいろな動物になって(1年)、電車でゴー(1年)、 友達と水かけっこ(2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○顔つけ(1年) ○かにさんブクブク、お池にポチャン、この歌いくつ、お池でたし算 ○もぐりっこ(2年) お池にポチャン、水中にらめっこ、水中言葉当て ○□□浮き(2年) だるま浮き、大の字浮き、背浮き、変身浮き <課題別> ○補助具を活用した運動遊び(1年一斉、2年選択) 宝探し、ピート板を使った運動遊び、輪を使った運動遊び 【学習の振り返り】	【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかって電車ごっこ、リレー遊び、鬼遊び ねことねずみ(1年)、鬼遊び(1・2年)、リレー遊び(2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○浮き遊び(1年) ワニ歩き、壁につかまって浮く、水中タクシー ○もぐって浮く遊び(1年) 連続ジャンプ、つかまって浮く ○バブリング、ポピング(2年) ワニケンケン、手つなぎジャンプ <課題別> ○補助具を活用した運動遊び(1・2年選択) 宝探し、ピート板を使った運動遊び、輪を使った運動遊び 【学習の振り返り】	
45分		【水の中を移動する運動遊び】 ○水につかって水かけっこ、 まねっこ遊び(1・2年) 【もぐる・浮く運動遊び】 ○顔つけ(1年) ○もぐりっこ(2年) ○□□浮き(2年) 【学習の振り返り】	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け		
75分					
90分		2	3	4	5
評価機会		①②	①②		
知・技		①		①	
思		①		①	
総					総合的な評価
単元の評価規程		次の運動遊びの行い方を知るとともに、その動きを身に付けている。 ①水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりしている。 ②もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりしている。			
思		①水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。			
総		①運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲よく運動をしようとしていたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりしている。			

小学校 第3学年及び第4学年 体育科 水泳運動 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能				
	1	2	3	4	5
思考力、判断力、表現力等	(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。 ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。 イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐるり方や浮き方をすること。 (2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 (3) 運動に楽しんで取り組み、きままりを守り遊んでも仲よく運動をしたり、友達のを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを付けたりすること。				
学習の流れ	0分	15分	30分	45分	75分
準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー	水慣れ				
オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○グループ分け	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐるり方 プールの底にタッチ、股くぐり、軸くぐり ○いろいろな浮き方 背浮き、だるま浮き、愛身浮き、大の字浮き、くらげ浮き、伏し浮き 【浮いて進む運動】 ○け伸び (3年) 床を蹴って (3年)、壁を強く蹴って (3、4年) 友達と一緒に (4年) ○初歩的な泳ぎ 補助具を使って、呼吸しながらのばた足やかえり足 (3年) 呼吸しながらのばた足やかえり足 (4年) 水面に顔を付けて泳ぐ (4年)	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐるり方 友達とポビング、水中でのいろいろな姿勢 ○いろいろな浮き方 伏し浮き→立つ、だるま浮き→大の字浮き、背浮き→伏し浮き ○簡単な浮き沈み 息を吸い浮かぶ、息を吐き沈む、浮きながら口を出す、連続ポビング 【浮いて進む運動】 ○初歩的な泳ぎ 左右交互にかく (3年)、円を描いて顔を出す (3年) 呼吸をしながらのばた足やかえり泳ぎ (4年) ※クロールや平泳ぎがてきる児童には、け伸びの距離を伸ばしたり、いろいろな体の動きに挑戦させたりする。 <課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：もぐる・浮く、け伸び B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり) C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり) 【学習の振り返り】	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐるり方 プールの底にタッチ、股くぐり、軸くぐり ○いろいろな浮き方 背浮き、だるま浮き、愛身浮き、大の字浮き、くらげ浮き、伏し浮き 【浮いて進む運動】 ○け伸び (3年) 床を蹴って (3年)、壁を強く蹴って (3、4年) 友達と一緒に (4年) ○初歩的な泳ぎ 補助具を使って、呼吸しながらのばた足やかえり足 (3年) 呼吸しながらのばた足やかえり足 (4年) 水面に顔を付けて泳ぐ (4年)	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐるり方 友達とポビング、水中でのいろいろな姿勢 ○いろいろな浮き方 伏し浮き→立つ、だるま浮き→大の字浮き、背浮き→伏し浮き ○簡単な浮き沈み 息を吸い浮かぶ、息を吐き沈む、浮きながら口を出す、連続ポビング 【浮いて進む運動】 ○初歩的な泳ぎ 左右交互にかく (3年)、円を描いて顔を出す (3年) 呼吸をしながらのばた足やかえり泳ぎ (4年) ※クロールや平泳ぎがてきる児童には、け伸びの距離を伸ばしたり、いろいろな体の動きに挑戦させたりする。 <課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：もぐる・浮く、け伸び B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり) C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり) 【学習の振り返り】	【もぐる・浮く運動】 ○いろいろなもぐるり方 友達とポビング、水中でのいろいろな姿勢 ○いろいろな浮き方 伏し浮き→立つ、だるま浮き→大の字浮き、背浮き→伏し浮き ○簡単な浮き沈み 息を吸い浮かぶ、息を吐き沈む、浮きながら口を出す、連続ポビング 【浮いて進む運動】 ○初歩的な泳ぎ 左右交互にかく (3年)、円を描いて顔を出す (3年) 呼吸をしながらのばた足やかえり泳ぎ (4年) ※クロールや平泳ぎがてきる児童には、け伸びの距離を伸ばしたり、いろいろな体の動きに挑戦させたりする。 <課題別グループ> ※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：もぐる・浮く、け伸び B：初歩的な泳ぎ (呼吸なし、補助具あり) C：初歩的な泳ぎ (呼吸あり) 【学習の振り返り】
本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け					
評価	1	2	3	4	5
知・技	①②		①②		
思考	①			①	
態度	①			①	
単元の評価規準	次の運動の行い方を知っていると、その動きを身に付けている。 ① 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをしている。 ② もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐるり方や浮き方をしている。 ① 自己の能力に適した課題を見付け、水の中の動きを身に付けるための活動を工夫しているとともに、考えたことを友達に伝えている。 ① 運動に楽しんで取り組み、きままりを守り遊んでも仲よく運動しようとしていたり、友達のを認めようとしていたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを付けたりしている。				
総合的な評価					

小学校 第5学年及び第6学年 体育科 水泳運動 単元指導計画				
単元の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	
	(1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。 ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。 ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みしながら続けて長く泳ぐこと。 (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配ったりすること。			
0分			2	4
15分	オリエンテーション ○水泳運動の心得 ○精注意 ○グループ分け		準備・健康観察・本時の知らいの確認・準備運動・シャワー	
30分	○水慣れ 水かけ、腰かけばた足、 パブリング、ボビング 等		水慣れ	
45分	【初歩的な泳ぎ】 ○け伸び 【安全確保につながる動き】 ○水中での体の操作 ○背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方 ○呼吸の仕方 【学習の振り返り】	【安全確保につながる運動】 ○水中での体の操作 3回～5回程度を目安にした浮き沈み ○背浮き 10秒～20秒程度を目安にし背浮き 【クロール】 ○手や足の動かし方（面かぶりのクロール） ○呼吸の仕方 【平泳ぎ】 ○手や足の動かし方（面かぶりの平泳ぎ） ○呼吸の仕方 <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ 【学習の振り返り】	【安全確保につながる運動】※着衣水泳を実施することも想定される。 ○水中での体の操作 連続ボビング ○背浮き 手や足を付けた背浮き 【クロール】 ○25m～50m程度を目安にしたクロール ○ゆったりとしたクロール 両手を揃えた姿勢で片手ずつ大きく水をかく ゆっくりと動かすばた足 【平泳ぎ】 ○25m～50m程度を目安にした平泳ぎ ○ゆったりとした平泳ぎ キックの後に頭を引いた伏し浮きの姿勢を体つ <課題別グループ>※A～Cを基本のグループとして設定する。 A：初歩的な泳ぎ B：クロール C：平泳ぎ 【学習の振り返り】	
75分			本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け	
90分			2	4
知・技	①②③		①②③	5
思	①		①	
能	①		①	
単元の評価規準	次の運動の行い方を理解しているとともに、その技能を身に付けている。 ①クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて長く泳いでいる。 ②平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて長く泳いでいる。 ③安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みしながら続けて長く泳いでいる。 ① 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ①運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしようとしていたり、仲間の考えや取組を認めたりして、水泳運動の心得を守って安全に泳ぎを配っている。			総合的な評価

5 福生第三中学校

中学校 第1学年 保健体育科 水泳 単元指導計画

単元の目標		2		3		4		5			
<p>知識及び技能</p> <p>(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。</p> <p>(2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>(3) 水泳に積極的に取り組みるとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとするなど、水泳の事故防止に関する心構えを遵守するなど健康・安全に気を配ること。</p>											
		<p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>学びに向かう力、人間性等</p>									
<p>0分</p> <p>準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー</p>											
<p>15分</p> <p>ウォーミングアップ</p> <p>○仲間と関わり合う運動</p>								<p>安全を確保するための泳ぎ</p> <p>○長く浮き続ける方法</p>			
<p>30分</p> <p>【課題別学習Ⅰ】</p> <p>○課題の発見</p> <p>クロールにおける自己の課題を発見する。</p> <p>○課題解決</p> <p>指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、グループで学習する。</p> <p><課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールの呼吸ができない B：クロールの呼吸ができる C：クロールで25m泳ぐことができる D：クロールで50m泳ぐことができる</p> <p>※生徒の状況によって、Aグループをさらに細分化する</p>		<p>【課題別学習Ⅱ】</p> <p>○課題の発見</p> <p>平泳ぎにおける自己の課題を発見する。</p> <p>○課題解決</p> <p>指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、グループで学習する。</p> <p><課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：平泳ぎのキックができない B：平泳ぎのキックができる C：平泳ぎのキックとストロークができ、かつ呼吸ができる D：平泳ぎで50m泳ぐことができる</p> <p>※生徒の状況によって、Oグループをさらに細分化する</p>		<p>【課題別学習Ⅲ】</p> <p>○課題の発見</p> <p>クロールおよび平泳ぎにおける自己の課題と到達状況を知る。</p> <p>○課題解決</p> <p>指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、実技試験でその成果を発揮する。</p> <p><課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロール、平泳ぎともに25m泳ぐことができない B：クロールで25m泳ぐことができる C：クロール、平泳ぎで25m泳ぐことができる D：クロール、平泳ぎで25m泳ぐことができる</p> <p>※生徒の状況によって、Oグループをさらに細分化する</p>							
<p>50分</p> <p>学習の流れ</p>											
<p>85分</p> <p>本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け</p>											
<p>100分</p> <p>評価機会</p>		2		3		4		5			
知		①③		②		②④					
技		①		①		②					
思		①		①		②					
態		①		①		②					
<p>単元の評価規準</p>		<p>①水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることを理解している。【定期考査】</p> <p>②水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントを理解している。【定期考査】</p> <p>③平泳ぎの手と足の動きができて、呼吸のバランスを保つことができる。</p> <p>④選択した泳法のスタート及びターンの一連の動きができる。</p> <p>⑤決められた距離を速く泳ぐことができる。</p>		<p>①提示された動きのポイントやつまづき等の事例を参考に、仲間の課題や出来栄を伝えることができる。</p> <p>②学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。</p>		<p>①水泳の学習に積極的に取り組みようとする。【定期考査】</p> <p>②ルールやマナーを守りながら練習する。</p>		<p>総合的な評価</p>			

中学校 第2学年 保健体育科 水泳 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。				
	思考力、判断力、表現力等	(2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 (3) 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、一人一人の違いに応じた課題や練習を認めようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。				
学習の流れ	0分	2	3	4	5	
	15分	準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー				
	30分	ウォーミングアップ ○仲間と関わり合う運動				安全を確保するための泳ぎ ○長く泳ぎ続ける方法
	50分	【課題別学習Ⅰ】 ○課題の発見 クロール、平泳ぎにおける自己の課題を発見する。 ○課題解決 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、グループで学習する。 <課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールで25m泳ぐことができない B：クロールで25m泳ぐことができる C：クロールで50m、平泳ぎで25m泳ぐことができる D：クロールで50m、平泳ぎで25m泳ぐことができる ※生徒の状況によって、Aグループをさらに細分化する	【課題別学習Ⅱ】 ○課題の発見 背泳ぎにおける自己の課題を発見する。 ○課題解決 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、グループで学習する。 <課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：平泳ぎのキックまたはストロークができない B：平泳ぎのキックとストロークができ、かつ呼吸ができる C：平泳ぎで25m泳ぐことができない D：平泳ぎで25m泳ぐことができる ※生徒の状況によって、Oグループをさらに細分化する	【課題別学習Ⅲ】 ○課題の発見 クロール、平泳ぎ、背泳ぎにおける自己の課題と到達状況を知る。 ○課題解決 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。教わった内容を活用し、実技試験でその成果を発揮する。 <課題別グループ> ※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールで25m泳ぐことができない B：クロールのみ25m泳ぐことができる C：クロール、平泳ぎ、背泳ぎのうち2つで25m泳ぐことができる D：クロールで50m、平泳ぎ、背泳ぎどちらも25m泳ぐことができる ※生徒の状況によって、CまたはDグループをさらに細分化する		
	85分	本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け				
100分	1	2	3	4	5	
評価機会	知	①②				
	技	①②③				
単元の評価規準	知	① 水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることについて理解している。【定評考案】 ② 水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを基めるための技術的なポイントを理解している。【定評考案】				
	技	① グロールの手と足の動きができ、呼吸のバランスを保つことができる。 ② 平泳ぎ、背泳ぎの手と足の動きができ、呼吸のバランスを保つことができる。 ③ 選択した泳法のスタート及びターンの一連の動きができる。 ④ 決められた距離を速く泳ぐことができる。				
思	① 提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来栄を伝えることができる。 ② 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。					
態	① 水泳の学習に積極的に取り組もうとする。② ルールやマナーを守りながら練習する。					

中学校 第3学年 保健体育科 水泳 単元指導計画

単元の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	2	3	4	5
	(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体かなどを理解するとともに、泳法を身に付けること。 ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。 エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。 (2) 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。 (3) 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、一人一人の運いに応じた課題や挑戦を認めようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ること。						
0分				準備・健康観察・本時のねらいの確認・準備運動・シャワー			
15分	ウォーミングアップ ○仲間と関わり合う運動						安全を確保するための泳ぎ ○長く浮き続ける方法
30分	【課題別学習Ⅰ】 ○課題の発見 クロール・平泳ぎ・背泳ぎにおける自己の課題を発見する。 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。 教わった内容を活用し、グループで学習する。 ＜課題別グループ＞※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールで25m泳ぐことができない B：クロールで25m泳ぐことができる C：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる D：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる ※主に背泳ぎの練習	【課題別学習Ⅱ】 ○課題の発見 バタフライにおける自己の課題を発見する。 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。 教わった内容を活用し、グループで学習する。 ＜課題別グループ＞※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールで25m泳ぐことができない B：クロールで25m泳ぐことができる C：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる D：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる ※C、Dは主に練習したい泳法を選択制	【課題別学習Ⅲ】 ○課題の発見 4泳法における自己の課題と到達状況を知る。 指導者に課題解決のための練習方法やポイントを教わる。 教わった内容を活用し、実技体験でその成果を発表する。 ＜課題別グループ＞※A～Dを基本のグループとして設定する。 A：クロールで25m泳ぐことができない B：クロールで25m泳ぐことができる C：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる D：クロール、背泳ぎで25m泳ぐことができる ※C、Dは主に練習したい泳法を選択制				
50分							
85分							
100分				本時のまとめ、整理運動、シャワー・片付け			
評価機会	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
単元の評価規準	①水泳は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることを理解している。【定期考査】 ②水泳の各種目において用いられる技術の名称や運動局面の名称があり、それぞれの技術や局面で、動きを高めるための技術的なポイントを理解している。【定期考査】 ③クロール、背泳ぎの手と足の動きができ、呼吸のバランスを保つことができる。 ④泳法は、泳法を身に付け、続けて長く泳いだり、競い合ったりする楽しさや喜びを味わうことのできる運動であることを理解している。【定期考査】 ⑤平泳ぎまたはバタフライの手と足の動きができ、呼吸のバランスを保つことができる。 ⑥提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来栄を伝えることができる。 ⑦学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができる。 ⑧水泳の学習に積極的に取り組もうとすることができる。 ⑨ルールやマナーを守りながら練習することができる。						

福生市教育委員会においては、次の者が本報告書の作成にあたった。

教育部参事兼教育指導課長事務取扱	森 保 亮
教育部主幹（統括指導主事）	竹 内 秀 礼
教育指導課指導主事	田 畑 圭 洋
教育指導課指導主事	堀 本 太 郎
教育指導課課長補佐	小田川 直 樹
教育指導課主任	石 川 篤

令和7年度
水泳指導の外部委託化モデル事業実施報告書

令和8年3月
福生市教育委員会

編集・発行：福生市教育委員会教育指導課指導係
所在地：福生市本町5番地
電話番号：042-551-1538

